

岡山が生んだ名文筆家、内田百間の生誕100年を記念して創設した内田百間文学賞。

第14回を迎えた今回は、国内外から282編の応募があり、その中から受賞作品4編が決定しました。表彰を記念し、最終審査員の先生をお招きして、表彰式と座談会を開催します。

現在、文壇で活躍中の先生のお話が聞けるまたとない機会です。ぜひ、ご参加ください。

### 表彰式・座談会プログラム

第1部 表彰式

第2部 座談会

受賞者と最終審査員による座談会

小川 洋子氏

平松 洋子氏

松浦 寿輝氏

第十四回

岡山県「内田百間文学賞」

表彰式・座談会

平成31年

3月19日(火)

14:00~15:50

岡山県立美術館

2階ホール(北区天神町8-48)



参加無料

定員 200名(要申込)

※申込み方法は裏面

参加者募集

参加者は岡山県立美術館で開催の「岡山の美術展」を無料でご覧いただけます。(当日のみ)

## 最終審査員紹介

### \*小川洋子氏(岡山市出身)「妊娠カレンダー」で芥川賞受賞

(主な著書)「揚羽蝶が壊れる時」「博士の愛した数式」「ブラフマンの埋葬」「ミーナの行進」  
「猫を抱いて象と泳ぐ」「原稿零枚日記」「人質の朗読会」「最果てアーケード」  
「ことり」「琥珀のまたたき」「洋子さんの本棚」(共著)「口笛の上手な白雪姫」など多数

### \*平松洋子氏(倉敷市出身)「買えない味」でBunkamuraドウ マゴ文学賞受賞

(主な著書)「平松洋子の台所」「野蛮な読書」「おとなの味」「なつかしいひと」「小鳥来る日」  
「ひさしぶりの海苔弁」「本の花」「食べる私」「洋子さんの本棚」(共著)  
「彼女の家出」「日本のすごい味 おいしさは進化する」など多数

### \*松浦寿輝(ひさき)氏(東京都出身)「花腐し」で芥川賞受賞

(主な著書)「冬の本」「エッフェル搭試論」「折口信夫論」「もののたはむれ」「半島」  
「あやめ 鯉 ひかがみ」「吃水都市」「明治の表象空間」「名誉と恍惚」など多数

## 受賞作品紹介

### 最優秀賞 小説「月痕(げっこん)」

小浦 裕子

岡山市内に住むタミエは、孫の妻である妊婦の咲と一緒に暮らしている。出産への不安を抱えている咲をタミエが見守り、支える。ある時、胎盤を埋めて子の成長を願う風習を聞いた咲は、出産後胎盤を持ち帰り、庭に埋めたいと言う。やがて、咲は産気づき…。

### 優秀賞 小説「手裏剣公方(しゅりけんくぼう)」中野 ふ菜

海彦は伯母から津山市にある祖父の家を取り壊すという連絡をもらう。40年前、小学4年生の夏休み、祖父の家の近くの別荘に来ていた池田順平という少年と親しくなる。海彦は、順平から徳川慶喜が弟の岡山藩主池田茂政に贈ったとされる家宝の手裏剣を見せてもらう。

### 優秀賞 小説「海と影(うみとかげ)」江口 ちかる

山村の煙草農家で生まれた直吉は、生母の出奔もあり、家の者ではないように扱われていた。直吉は、生母の生まれた海の町の話をお父さんから聞き、海を思い描くようになる。青年になった直吉は、高瀬舟の船頭となる。ある日直吉は、美しい女性たえと出会う。

### 優秀賞 小説「妙薬(みょうやく)」

馬場 友紀

志乃は、備中売薬を営む本家の家業である薬作りを手伝うさなか、ふと戦死した息子直哉のことを思い出し涙する。ある時、直哉の遺品から直哉が実家に庭を作りがっていたことを知る。志乃は、直哉の意志を継ぎ、庭を作ることを決意する。

### 【申込み方法】

はがき、FAX、Eメール、電話のいずれかの方法でお申し込みください。

※応募者多数の場合は抽選となります。締め切り後、入場整理券をお送りいたします。なお、定員に満たない場合は引き続き募集します。

### 【申込み・問い合わせ先】

(公財)岡山県郷土文化財団 文学賞係

〒700-0822 岡山市北区表町1-7-15 702号

TEL(086)233-2505 FAX(086)232-4329

mail:o-bunka@utopia.ocn.ne.jp

締切日

平成31年 3/12(火)

「表彰式・座談会申込み」の旨と必要事項(代表者のお名前、住所、電話番号、参加人数)をはがき、電話またはメールにてお知らせください。FAXの方は、右の申込書に必要事項を記入し、上記FAX番号までお送りください。

FAX申込書

お名前(代表者)	
住所 〒	
電話番号	参加人数 人